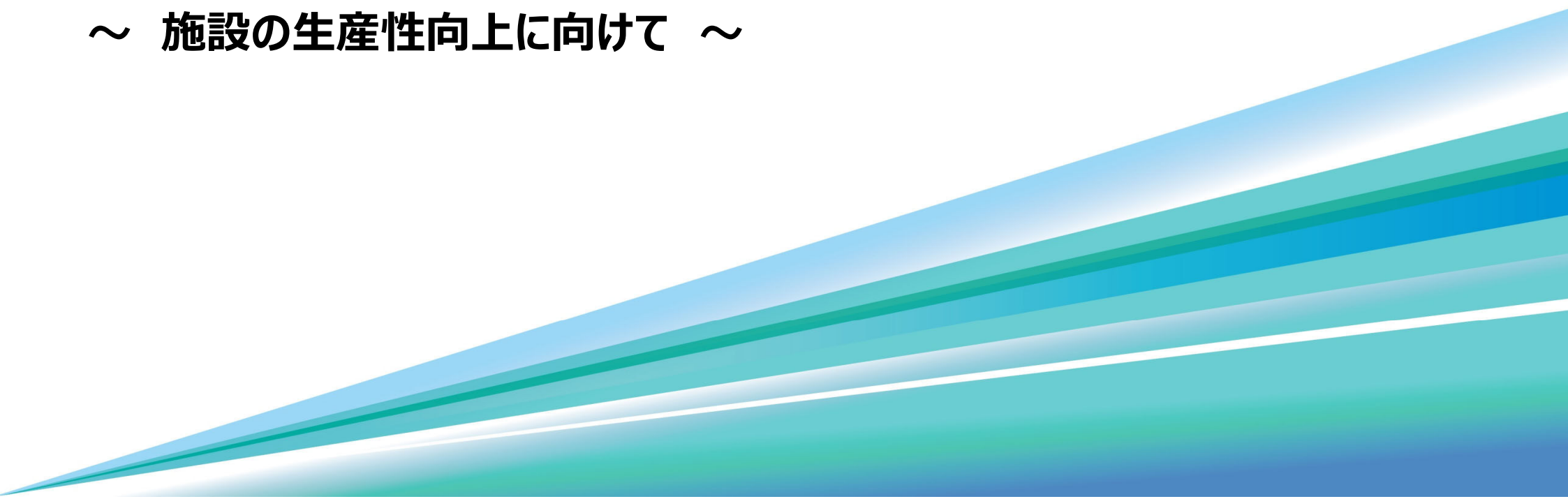


令和6年度 神奈川県介護生産性向上推進活動支援事業

あじさいの郷 介護テクノロジーを取り入れる ～ 施設の生産性向上に向けて ～



施設概要

医療法人勝又 介護老人保健施設あじさいの郷

神奈川県足柄上郡開成町金井島1966

【開設】 平成5年(1993年)4月

【サービス】 入所サービス 100床
短期入所療養介護
通所リハビリテーション



プロジェクトの概要

【 応募した理由 】

I C Tを取り入れていない施設に対し、施設のデモンストレーターになることを目標に応募。

【 プロジェクトメンバーの紹介 】

生産性向上委員会

施設長 石田真理

事務長 田代亜起子

介護部門 関 安藤 大澤 小清水

看護部門 外山 宇野

リハビリ部門 高橋

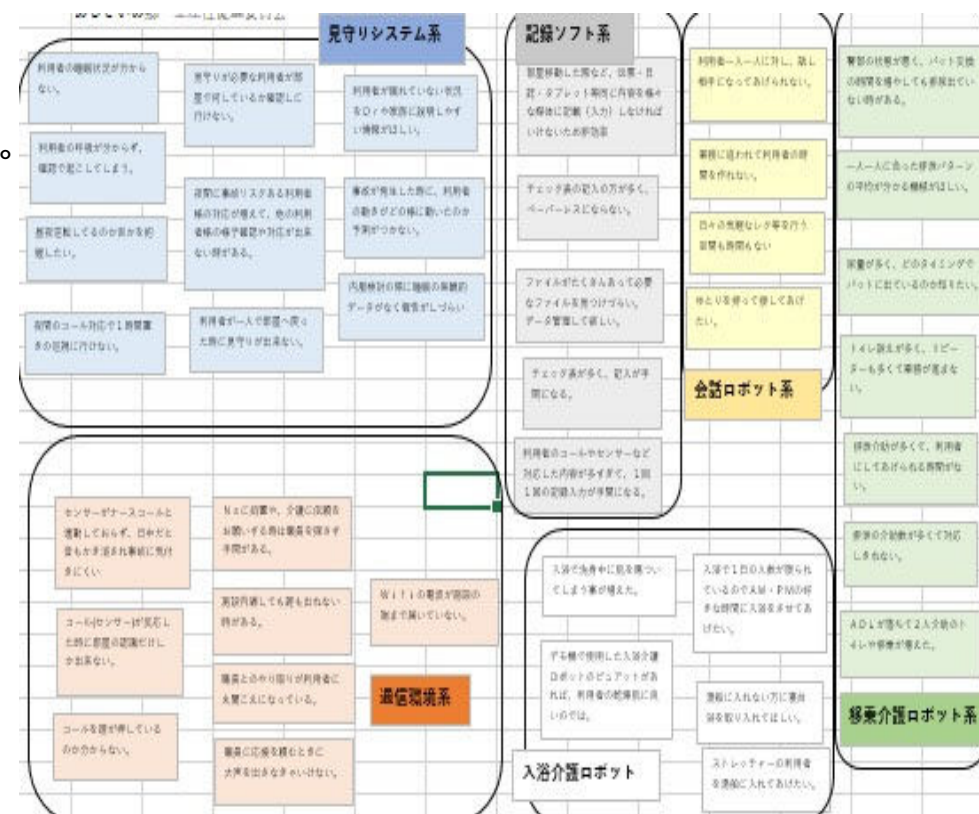
事務部門 高木(支援相談員) 尾崎(事務員)

研修時に想定した施設の課題

全職員へ『問題点となっているアンケート』を実施した結果

- ・ 日中、職員の所在が分からないため、大きな声で呼んだり、直接の報告や確認に手間や時間が掛かってしまう。
- ・ 情報共有が口頭となってしまうため、利用者に内容が聞かれている時がある。
- ・ チェック表などが多く、ペーパーレス化が難しい。
- ・ 夜間、利用者のセンサーやコール対応に追われて、1時間おきの巡視が難しい時がある。
- ・ 巡視で利用者の睡眠状況や呼吸確認で起こしてしまうことがある。

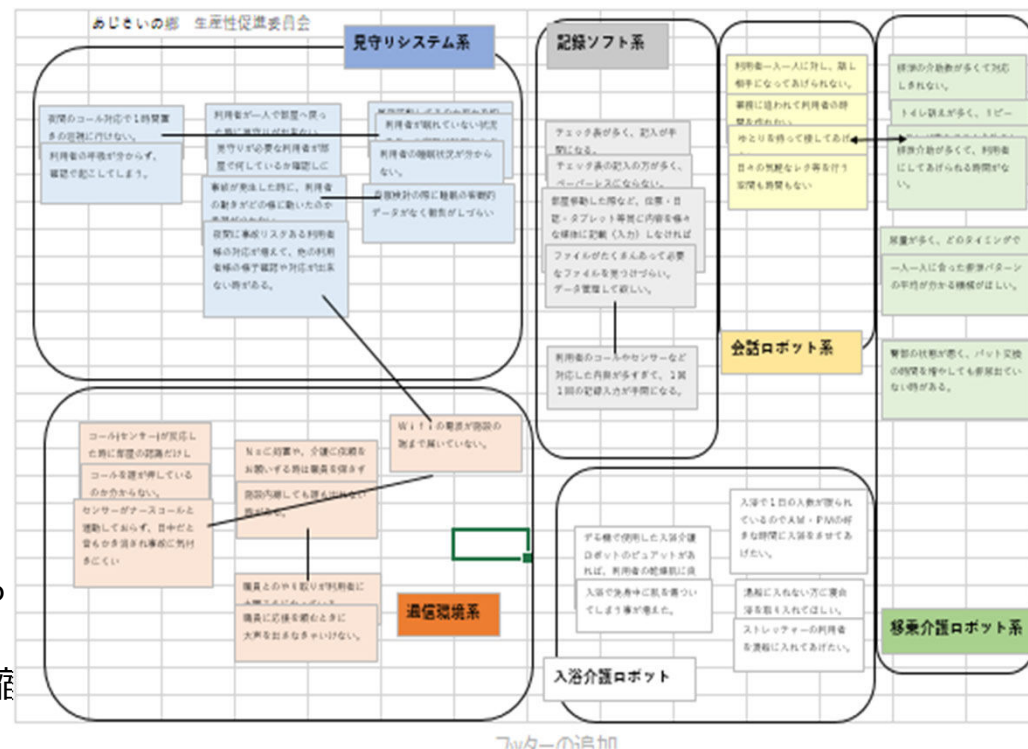
など、他にも多数の意見をもらうことが出来た。



実際の施設の課題と対応策

アンケート実施後に委員会で再度問題点や課題を見直した結果

- ① W i f i 環境を整え、インカムと睡眠解析システムを使用出来る状況にする。
- ② インカムを導入し、職員との連絡手段や情報共有を出来る状況にする。
- ③ 睡眠解析システムを導入し、巡視を時間短縮、利用者の睡眠状況をモニターで把握出来るようにする。
- ④ 以前に入浴ロボットで『ピュアット』をデモ機で試し、利用者や職員から評価が高く、皮膚トラブルの対策や洗身時間の短縮望めたため、導入を検討。



フューチャーの未来

導入する機器と、機器を使用したときに想定される効果

解決すべき課題	課題を解決する機器	選定理由	導入時に必要な工夫
ネット環境を整える	Wifi機器	ICT機器を設置する際、端の部屋でも通信が可能。	
巡視の効率化	眠リスキャン（パラマウント株式会社）	1時間置きの各部屋の巡視をモニターで確認。スマートフォンでも他利用者様の状態確認が可能のため、各部屋の様子や作業の効率向上が可能。	PCの他、スマートフォンで確認が出来るよう設定する。
睡眠の状況	眠リスキャン（パラマウント株式会社）	利用者様の睡眠状況をDrや家族へ分かりやすい説明が可能。	睡眠状況をグラフで印刷出来るようにする。
情報の伝達手段	Buddycom(株式会社サイエンスアーツ)	都度、職員を探して情報を伝達する手間を省けられる。	出勤した職員へスマートフォンを手渡せるよう台数の準備。
情報の共有化	Buddycom(株式会社サイエンスアーツ)	利用者の皮膚状況や現場を画像で共有。看護師がその場に居なくても判断を仰げる。	出勤した職員へスマートフォンを手渡せるよう台数の準備。
入浴の効率化	ピュアット(株式会社金星)	洗身作業で時間短縮と皮膚トラブルとなるケースの減少が可能。	利用者への説明と理解。

今後の課題

- ・ 操作が苦手な職員にも分かりやすいマニュアル作成と、触れながら操作説明を行ない覚えてもらう。
- ・ 導入するにあたって、P D C Aサイクル(計画 → 実行 → 評価 → 対策)を行なっていく。
⇒導入後に全職員へアンケートを行ない評価、対策と改善を行なっていく。
- ・ 導入後にどれだけ時間短縮が出来たか、どのように介護負担が削減できるかなど話し合い工夫していく。
- ・ 人員の削減により希望に沿った有給休暇を取れる状況を作っていく。

ご視聴ありがとうございました。